



● Gコース ツバメ

◎-1 ツバメ

◎-2 コシアカツバメ

◎-3 イワツバメ

ツバメは商店の店先などに巣を作り、私たちに一番身近な野鳥の一つです。ツバメの姿を見ると、春が来たなあと感じる人も多いでしょう。

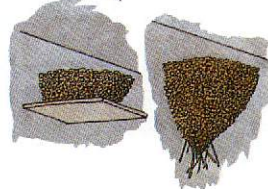
ツバメの仲間にはいくつかの種があり、ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメの3種が北海道から九州までの広い地域で巣を作っています。このコースでは、どのツバメがどこで巣作りをしているかを調べます。なお、奄美諸島以南にはリュウキュウツバメがいますが、これは「南の島コース」の対象になっています。北海道には崖に巣穴を掘るショウドウツバメがいますが、これは今回の調査では調べません。

ここ2、30年ほどの間に、イワツバメが新しく巣を作るようになった地域が増えています。また、ツバメは以前に比べると少なくなったという話を聞くこともあります。実際にはどんな変化が起こっているのかを調べるのが、このコースの目的です。ただ飛んでいるというだけでなく、必ず巣を確認してそのメッシュを報告してください。

3種のツバメは、図のように腰の部分の色、胸の色、尾の長さなどに注意すれば見分けることができます。また、巣の形もそれぞれ特徴があります。しかし、巣だけではまぎらわしいこともありますから、鳥の姿と、巣の両方をよく見て調べてください。

■3種の見分け方

ツバメ



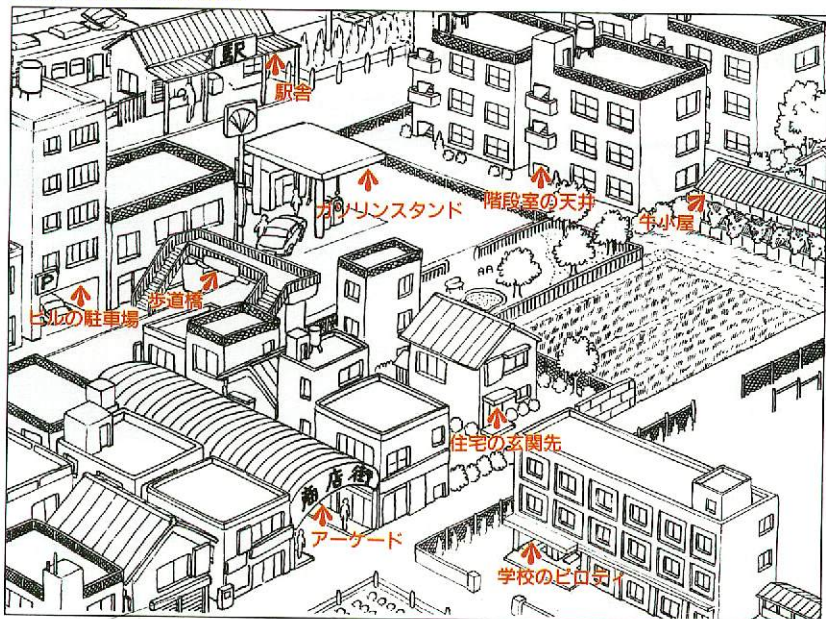
コシアカツバメ



イワツバメ



■巣の見られる場所





ツバメ

●*Hirundo rustica gutturalis*

■かたちと大きさ

スズメより少し大きく、とくに尾が長くがっている。全長は17cm。のどが赤いこと、胸から腹は白いこと、尾の先に白い模様があることなどが特徴。幼鳥では尾が短くイワツバメとまちがえることがあるので注意が必要。

■くらし

3月の終わり頃、日本に渡ってきて巣作りをはじめ。2回くらい子育てをして、9月頃南に渡っていく。空中をたくみに飛び回り、虫をとらえて餌にする。巣を作る材料は泥と枯草で、地面において集める。電線にとまってつぶやくように鳴く声は「土食って虫食って渋ーい」と聞こえる。

■巣のかたち

巣は壁に直接つけられることと、台



の上に作られることがある。どちらの場合も巣の上は広く開いていて、中にいる雛の姿がよく見える。

■巣を作る場所

商店の店先、アーケード、歩道橋、駅、住宅の玄関先、牛小屋など。住宅地や農村では見つけにくいので、人たずねて歩くとよい。

■おもな分布地

北海道南部、本州、四国、九州。



コシアカツバメ

●*Hirundo daurica japonica*

■かたちと大きさ

ツバメより少し大きく、全長は18.5cm。腰の部分が赤茶色をしていること、胸から腹にたてすじがあることが特徴。

■くらし

ツバメより遅く、4月の終わり頃、日本に渡ってきて巣作りをはじめ。2回くらい子育てをして、9~10月頃南に渡っていく。空中を飛び回り、虫をとらえて餌にするなど、くらし方はツバメとよく似ている。



■巣のかたち

巣はとっくりを縦に二つに割ったかたちで、建物の天井や庇の水平な部分につけられる。入口の長さは巣によって変化が大きい。中の雛の姿はふつう

見えない。

■巣を作る場所

ビルの車庫の天井など、やや大きい建物に巣を作る。最近では3～5階建ての住宅の階段を上った所の天井に巣を作ることが多く、外からはわかりに

くいので、やはり人に聞いて歩く必要がある。

■おもな分布地

北海道（まれ）、本州、四国、九州。



イワツバメ

● *Delichon urbica dasypus*

■かたちと大きさ

ツバメより少し小さく、尾が短い。全長は14.5cm。腰の部分が四角く白いことが特徴。

■くらし

ツバメよりやや早く、3月の中頃、日本に渡ってきて巣作りをはじめ。くらし方はツバメやコシアカツバメとよく似ているが、**集団で巣を作ることが多く**、数百個の巣がまとまって作られることもある。餌をとるのに他のツバメよりも高い空を飛び回る。

■巣のかたち

巣はツバメに似ているが、**天井につけて作られ、入口は小さい**。雛が大きくなると顔だけがのぞいている。



■巣を作る場所

市役所などの**庇**、学校のピロティ、橋げたなど、コンクリート製の大きな建築物に集団で巣を作る。巣のある所では、たくさんの親鳥が飛び回っている。他のツバメと違って、自然の岩壁に巣を作っている所もある。

■おもな分布地

北海道、本州、四国、九州。

注意 ヒメアマツバメ

コシアカツバメやイワツバメの巣を観察していて、巣の入口に鳥の羽がつけられている巣を見つけたら、それはヒメアマツバメという別の種が使っているものです。この鳥は20年ほど前に初めて日本で巣を作っているのが発見された種で、おもに太平洋側に分布しています。腰の白い点はイワツバメに似ていますが、胸から腹が黒いので区別ができます。

ヒメアマツバメは、今回の調査では調べません。